

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2019-93227 (P2019-93227A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-023
 【出願番号】特願 2019-59537 (P2019-59537)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z
 A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 8 月 28 日 (2019.8.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

磁気を検知する磁気検知手段を備えた遊技機において、
 支持部材と、
 前記支持部材に開閉可能に支持され、保護ガラスが設置される扉部材と、
 前記扉部材の開放を検知する扉開放検知手段と、
 前記磁気検知手段からの磁気検知信号が入力される制御手段と、を備え、
 前記磁気検知手段では初期動作が行われ、
 前記磁気検知手段には、前記扉開放検知手段からの開放検知信号が入力され、
 前記扉開放検知手段からの開放検知信号の状態には、前記扉部材の開放が検知されていることを特定できる第 1 状態と、前記扉部材の開放が検知されていないことを特定できる第 2 状態と、があり、

少なくとも前記磁気検知手段に入力される前記開放検知信号の状態が前記第 1 状態である場合に前記初期動作が行われず、

前記扉部材が開放されているときに電力供給が開始された場合に当該電力供給が開始されてから 1 回目の前記扉部材の閉鎖後に前記初期動作が行われ、

前記磁気検知手段からの磁気検知信号の出力状態は、少なくとも磁気を検知していないときにはハイレベルとなり、磁気を検知しているときであって特定条件が成立しているときにはローレベルとなり、

前記磁気検知手段が磁気を検知した場合、所定条件が成立するときには前記磁気検知信号の出力状態がローレベルとならずにハイレベルとなる一方、前記所定条件が成立しないときには前記磁気検知信号の出力状態がローレベルとなり、

前記制御手段は、接続端子から出力させる外部信号の出力を制御可能であって、磁気を検知されたことを特定できる場合に特定の外部信号の出力を制御し、

前記制御手段は、前記磁気検知手段からの前記磁気検知信号の出力状態がローレベルであることに基づいて磁気を検知されたことを特定することが可能であり、

前記接続端子と外部装置が接続されているときであっても前記扉部材が開放されているときには、前記磁気検知手段が磁気を検知しても前記磁気検知信号の出力状態がローレベ

ルとならないことによって前記特定の外部信号が前記外部装置へ出力されないことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

磁気を検知する磁気検知手段を備えた遊技機において、
支持部材と、
前記支持部材に開閉可能に支持され、保護ガラスが設置される扉部材と、
前記扉部材の開放を検知する扉開放検知手段と、
前記磁気検知手段からの磁気検知信号が入力される制御手段と、を備え、
前記磁気検知手段では初期動作が行われ、
前記磁気検知手段には、前記扉開放検知手段からの開放検知信号が入力され、
前記扉開放検知手段からの開放検知信号の状態には、前記扉部材の開放が検知されていることを特定できる第 1 状態と、前記扉部材の開放が検知されていないことを特定できる第 2 状態と、があり、
少なくとも前記磁気検知手段に入力される前記開放検知信号の状態が前記第 1 状態である場合に前記初期動作が行われず、
前記扉部材が開放されているときに電力供給が開始された場合に当該電力供給が開始されてから 1 回目の前記扉部材の閉鎖後に前記初期動作が行われ、
前記磁気検知手段からの磁気検知信号の出力状態は、少なくとも磁気を検知していないときにはローレベルとなり、磁気を検知しているときであって特定条件が成立しているときにはハイレベルとなり、
前記磁気検知手段が磁気を検知した場合、所定条件が成立するときには前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルとならずにローレベルとなる一方、前記所定条件が成立しないときには前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルとなり、
前記制御手段は、接続端子から出力させる外部信号の出力を制御可能であって、磁気を検知されたことを特定できる場合に特定の外部信号の出力を制御し、
前記制御手段は、前記磁気検知手段からの前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルであることに基づいて磁気を検知されたことを特定することが可能であり、
前記接続端子と外部装置が接続されているときであっても前記扉部材が開放されているときには、前記磁気検知手段が磁気を検知しても前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルとならないことによって前記特定の外部信号が前記外部装置へ出力されないことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する遊技機は、磁気を検知する磁気検知手段を備えた遊技機において、支持部材と、前記支持部材に開閉可能に支持され、保護ガラスが設置される扉部材と、前記扉部材の開放を検知する扉開放検知手段と、前記磁気検知手段からの磁気検知信号が入力される制御手段と、を備え、前記磁気検知手段では初期動作が行われ、前記磁気検知手段には、前記扉開放検知手段からの開放検知信号が入力され、前記扉開放検知手段からの開放検知信号の状態には、前記扉部材の開放が検知されていることを特定できる第 1 状態と、前記扉部材の開放が検知されていないことを特定できる第 2 状態と、があり、少なくとも前記磁気検知手段に入力される前記開放検知信号の状態が前記第 1 状態である場合に前記初期動作が行われず、前記扉部材が開放されているときに電力供給が開始された場合に当該電力供給が開始されてから 1 回目の前記扉部材の閉鎖後に前記初期動作が行われ、前記磁気検知手段からの磁気検知信号の出力状態は、少なくとも磁気を検知していないときにはハイレベルとなり、磁気を検知しているときであって特定条件が成立しているときにはローレベルとなり、前記磁気検知手段が磁気を検知した場合、所定条件が成立すると

きには前記磁気検知信号の出力状態がローレベルとならずにハイレベルとなる一方、前記所定条件が成立しないときには前記磁気検知信号の出力状態がローレベルとなり、前記制御手段は、接続端子から出力させる外部信号の出力を制御可能であって、磁気を検知されたことを特定できる場合に特定の外部信号の出力を制御し、前記制御手段は、前記磁気検知手段からの前記磁気検知信号の出力状態がローレベルであることに基づいて磁気を検知されたことを特定することが可能であり、前記接続端子と外部装置が接続されているときであっても前記扉部材が開放されているときには、前記磁気検知手段が磁気を検知しても前記磁気検知信号の出力状態がローレベルとならないことによって前記特定の外部信号が前記外部装置へ出力されないことを要旨とする。

上記課題を解決する遊技機は、磁気を検知する磁気検知手段を備えた遊技機において、支持部材と、前記支持部材に開閉可能に支持され、保護ガラスが設置される扉部材と、前記扉部材の開放を検知する扉開放検知手段と、前記磁気検知手段からの磁気検知信号が入力される制御手段と、を備え、前記磁気検知手段では初期動作が行われ、前記磁気検知手段には、前記扉開放検知手段からの開放検知信号が入力され、前記扉開放検知手段からの開放検知信号の状態には、前記扉部材の開放が検知されていることを特定できる第1状態と、前記扉部材の開放が検知されていないことを特定できる第2状態と、があり、少なくとも前記磁気検知手段に入力される前記開放検知信号の状態が前記第1状態である場合に前記初期動作が行われず、前記扉部材が開放されているときに電力供給が開始された場合に当該電力供給が開始されてから1回目の前記扉部材の閉鎖後に前記初期動作が行われ、前記磁気検知手段からの磁気検知信号の出力状態は、少なくとも磁気を検知していないときにはローレベルとなり、磁気を検知しているときであって特定条件が成立しているときにはハイレベルとなり、前記磁気検知手段が磁気を検知した場合、所定条件が成立するときには前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルとならずにローレベルとなる一方、前記所定条件が成立しないときには前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルとなり、前記制御手段は、接続端子から出力させる外部信号の出力を制御可能であって、磁気を検知されたことを特定できる場合に特定の外部信号の出力を制御し、前記制御手段は、前記磁気検知手段からの前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルであることに基づいて磁気を検知されたことを特定することが可能であり、前記接続端子と外部装置が接続されているときであっても前記扉部材が開放されているときには、前記磁気検知手段が磁気を検知しても前記磁気検知信号の出力状態がハイレベルとならないことによって前記特定の外部信号が前記外部装置へ出力されないことを要旨とする。